

平成27年度 第3回 沖野老人福祉センター 管理運営委員会 記録

日 時：平成27年12月18日（木）10：00～11：10

会 場：娯楽会議室

出席者：阿部義勝、清野章三、高橋勝男、寺嶋幹也、納谷隆、深井茂道、藤島武夫、
伊藤かち子、伊藤しげ子、小畑キヌエ、高橋清子、中村知恵子、渡辺ふさ子、
小笠原しげ子（敬称略）

センター出席：高橋館長、本田（司会）、五十嵐（記録）

1）館長挨拶（省略）

2）議題

① 次期管理運営委員会の公募期間終了のお知らせ

- ・ 前回の委員会でお伝えしましたように、センターだよりや、センター内掲示、また各サークルの皆様へ呼びかけを通じて平成27年7月31日（金）～10月31日（土）にわたって、次期管理運営委員会の方を公募いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。

② 世代間交流事業「おにぎらずと白玉だんご作り」につきまして（別紙参照）

日時：H28/1/23（土）10：00～12：00

会場：沖野市民センター 調理室

内容：「おにぎらずと白玉だんご作り」

- ・ 上記内容にて、沖野児童館との世代間交流事業を実施することが決まりました。従来と異なりまして、今回のお手伝い（5名）に関しましては、委員の皆様含め、一般の方々からも公募させていただき、定員になり次第、締め切らせていただく予定となっています。よろしくお願いします。公募は1月に入ったら館内掲示し行います。

③ 管理運営委員の皆様の再任意思確認につきまして

- ・ 現委員の皆様の任期は平成28年3月31日までとなっております。
次年度以降も、皆様方よりご意見を賜り、センターの運営・活性化に反映させたいと考えております。委員の皆様にご依頼状をお渡しさせていただきますので、もしも継続が難しいという方がおられましたら、大変恐縮ですが、平成28年1月25日を目安に自体届を事務所までご提出いただければと思います。よろしくお願いします。

○委員の方々から挙げた意見

- ・ センターとしては委員の人数はどれくらい必要と考えているのか
→ 定員の制限は特に設けていなく、なるべく多くの管理運営委員の方々職員が気づかない面や行事運営に参画していただきたい。（館長）

- ・各教室へ委嘱を依頼したらどうか
- 一昨年に各教室に依頼したことがあるが、「どうしても難しいため一任します」という回答が多かった。
- ・各教室・サークルから出来るだけ多くの方に委員を委嘱できるようセンターから、もう少し積極的に働きかけをしていただきたい。
- ・管理運営委員会長を務めてきたがセンターへ足を運ぶ機会が少なかったため、次期は別の方が会長に就任していただきたい
- 管理運営委員会長については自薦・他薦もあるが、皆さんからの推薦が多い場合は再就任にむけてご理解ご協力をお願いします。(館長)
- ・センターとしてサークル・団体を含め、どれくらいの来館者数にしていきたいのか目安をおしえてほしい。
- センター自体の社会的役割から考えると人数の制限はしていない。利用者の方々が生き甲斐を持って生活していただくことを趣旨・目的としており、目的を達成するために行事を実施している。その一方、駐車場が狭いなど問題があり、ジレンマとなっている面もありますが、広く多くの方々に利用していただける方向で運営しています。来館者の人数制限や目安はありません。(館長)
- ・健康マージャンのサークルでは参加者が増えているが、駐車場の問題や、活動する部屋のスペース、麻雀卓の数の問題を抱えている状況にある。
- 他のサークルや利用者の方々の様子はどうか？
- 囲碁・将棋で来館されている方々は減少しており、他の教室・サークルも駐車場が少ないことで、遠方に住んでいて交通手段が車しかないため、利用を制限されている方も多い状況にある。
- ・4月開講に向けた各教室への応募時に来館手段を確認し、車で来る方を制限してはどうか？
- (趣味の教室に関しては)原則として新しい方が優先されることになっており、その方々が車で来館されるということであっても、センターとして拒否は出来ないことになっていきます。一番優先されるのは各教室の活動であるため、その教室の講師の駐車スペースは確保するようにし、生徒さんには可能な限り他の交通機関で来館されるようお願いの声かけをしています。(本田)
- ・センターとしてどこか別に駐車場を借りることは検討していないのか？
- 近隣の数ある空き地へ足を運んでその土地所有者に相談したが、東日本大震災後に固定資産税が減免となっている事などの理由からすべて断られました。(館長)
- ・サークル活動について、老人福祉センターでは現在、館町内会の福祉委員会に参加しています。その中で認知症や体調の変化などをいち早く捉えてサポートに繋げていきたいと考えています。家族でも分からない面と一緒にサークル活動をしている仲間同士の会話などから、以前との変化に気づくことも多いと思われますので、そういった情報を職員にいただければ地域包括センターへ繋いで、認知症に早めに対処していくことが可能であると、福祉委員会の集まりで話し合われています。サークル活動はレクリエーショ

的な機能だけでなく、福祉的な機能も期待されています。

- ・委員さんの募集については来年度の教室の皆様に声がけをしていきますのでよろしくお願いします。（以上、本田）

その他

- ・来年度から各教室で活動の準備や後片付けを行うということについて、すべての教室・サークルで行うということでもいいのか？

（※館長が、挨拶時に『次年度を目途として教室/サークルの方々に準備・後片付けをしていただく旨の発言をしているのを受けて）

→教室によっては、職員が手伝う形で徐々に定着を図っていけるよう、現在職員が検討しているため決まり次第皆さんにお伝えしていきます。（館長）

→サークルや教室での現状復帰については、各教室やサークルによって使っている形体が全く異なっているためその都度、職員が「ここまで行ってください」と声がけしながら行っていきたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。（本田）

- ・大広間のテレビの映りが悪い時があるので見て欲しい
- ・仙台市のバスの回数を増やして頂くようにセンターから仙台市へ申し出てください。
- 市長への『市民の声』というのがあるため、要望を投書されてみてください。（館長）
- ・工事（※先日行われた屋上の防水シート工事のこと）の関係で花壇の土が固くなっているため、来年も花壇整備に協力をお願いします

- ・次回 平成27年度 第4回管理運営委員会は平成28年2月中旬から3月上旬に実施
予定詳細は追ってご連絡致します。

議題：・今年度の総括

- ・次年度の活動に向けまして